

100億宣言



箱崎工場

- 本社所在地：福岡県福岡市南区
- 事業概要：食品製造業
- 常時使用する従業員：224名
(2026年4月時点)
- 現在の売上高：52億円
(2025年8月期)
- 法人番号：3290001001453
- Web：https://www.jp-seafoods.jp/

株式会社 ジャパン・シーフーズ（製造業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
井上 陽一

鰯と鯖で世界の人々を健康にし、豊かな食生活を創造する

当社はアジとサバの生食製品（刺身）を世界中に普及させ、人々の健康に貢献する事を目指す。アジやサバなどの青魚に含まれるDHAやEPA（オメガ3系脂肪酸）は、日頃の健康維持に欠かせない必須脂肪酸である。しかし、それらは熱に弱く加熱調理してしまうと一部が分解・溶出してしまうため、生食（刺身）で食べる事が効率よくオメガ3系脂肪酸を摂取する方法である。アジやサバを生（刺身）で食べる文化は世界的に見ても極めて珍しいが、世界中で刺身と寿司が食べられている中、アジとサバの刺身を食べて貰える日はそう遠くないと考える。そしてそれを実現できるのが国内リーディングカンパニーである当社だと考えている。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年の売上高100億円達成に向け、主力である業務用およびコンシューマー向け製品の増産・供給体制を強化。不漁に対応する為に冷凍原料製品の比率を8割まで高める。海外輸出を拡大させる。年率11.5%の持続的成長を維持し、両市場におけるシェア拡大と事業基盤の確立を目指す。

課題

- ・スマート工場化による生産最新設備や自動化ラインを導入し、供給能力の強化を図る
- ・既存工場のスペース最大活用と、将来を見据えた増設・拠点拡張の推進
- ・特定の仕入れ先や産地に依存しない複数の調達ルート（国内・海外）を確立し、有事にも揺るがない盤石なBCP（事業継続体制）をつくる

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・手作業の多い「梱包・パレタイズ」「検品（画像検査AI）」などを自動化し、少人数での大量生産体制をつくる
- ・既存工場の動線を見直し、デッドスペースを徹底排除する
- ・「5S・レイアウト再設計」を実施
- ・突発的な市場混乱時にも最低限の稼働を維持できる「戦略的バッファー在庫」を管理・保持する
- ・トンネルフリーザーを導入し、自社に凍結能力を持つ
- ・営業社員を海外に定期的に派遣する

実施体制

- ・スマート工場化 WG（生産革新チーム）を立ち上げ、自動化・省人化設備の選定・導入、製造現場のデータ活用（DX）、タクトタイム短縮を図る
- ・戦略調達・BCP推進 WG（サプライチェーン強靱化チーム）により主要原料のマルチソーシング率100%として、原料欠品ゼロにする
- ・海外で営業実務経験のある社員の獲得

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです